

新刊紹介

- 一般書 ○児童書



- 賢い冷蔵庫 ラクするためのおいしい下ごしらえ／瀬尾 幸子(著)／NHK出版
- 落日／湊 かなえ(著)／角川春樹事務所
- 絶望スクール 池袋ウエストゲートパーク 15／石田衣良(著)／文藝春秋



- たたたたたたん／内田麟太郎(文)／西村 繁男(絵)／童心社
- かぜがふくふく／田島 征三(作)／フレーベル館
- そらまめくんのやすみなさい／なかや みわ(さく)／小学館

パープルリボンツリーを設置します

『女性に対する暴力をなくす運動』図書館では企画調整課と連携し、11月1日～30日の期間中、エントランスにパープルリボンツリーを設置します。また、男女共同参画やDVに関する本の展示・貸出し・しおりの配布も行います。



休館のお知らせ

11月23日(土・祝)は、読書講演会・読書感想文コンクール表彰式をサン・フレッシュ枕崎で行うため、図書館は休館いたします。ご了承ください。

音訳ボランティア「ひだまり」会員募集!

ボランティアに興味のある方、お時間に余裕のある方、音訳ボランティアに参加しませんか?

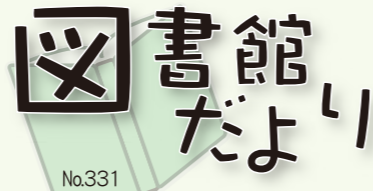
主な活動内容は、市内の視覚に障がいがある方に向けての「広報まくらざき」の録音作業です。

詳しくは市立図書館までお問合せください。

イベント

ふれあい図書館まつり

日時 11月23日(土) 午後1時20分～
場所 サン・フレッシュ枕崎
時間・内容
午後1時 受付
午後1時20分 読書講演会
講師：あべ 弘士さん
午後2時55分 読書感想文コンクール表彰式



市立図書館 ☎ 72-9254
ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/
★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 11月10日～12月9日

日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9					

- 休館日 ★ イベント
- おはなしのへや 午後3時～
(絵本と紙芝居の読み聞かせ)

おはなしのへや



- 時間 20～30分ほど
- 場所 市立図書館1階子育て支援コーナー
- 内容 親子を対象に絵本や紙しばいの読み聞かせをします。



今月の担当は

幸田隊員です!



こんにちは。地域おこし協力隊の幸田です。今回は今年枕崎に移住された望月さんご夫妻を紹介します。今月「まくらざき犬猫病院」を開院した望月さん。移住の経緯や枕崎への思いなどを伺いました。

地域おこし協力隊 活動レポート

協力隊が行く!

尚哉さんにとっては見知らぬ土地である枕崎。しかし、移住することにそれほど迷いはなかったそうです。「前々から(妻が)将来的に枕崎に帰りたいという話は聞いていました。本来病院を開くならある程度広い範囲から場所を選ぶのが普通だと思いましたが、自分たちは最初から枕崎で、と決めていたので迷いはありませんでした。鹿児島の人には鹿児島から離れても、いつかは地元に戻りたいという人が多い印象がありますね」と話す尚哉さん。

病院の開業と枕崎への移住
今年から枕崎市に移住してきた望月尚哉さんと沙世さんご夫妻。尚哉さんは静岡県出身、奥様の沙世さんは枕崎市出身。共に獣医師で、神奈川県内の勤務先で出会い結婚。1年半ほど前、鹿児島県に戻り鹿児島市・始良市の病院にそれぞれ勤務し、11月初旬に市役所通りで動物病院を開業しました。
枕崎生まれの沙世さんは、地元を離れる前から将来的には鹿児島に帰ってきたいという思いがあつたそうです。大学卒業後、関東の病院で経験を積んでいましたが、理想の病院になかなか出会えなかったと言います。そんな中、「鹿児島に帰って、自分たちで新しく病院を開業する」という思いが徐々に強くなっていったそうです。
尚哉さんにとつては見知らぬ土地である枕崎。しかし、移住することにそれほど迷いはなかったそうです。「前々から(妻が)将来的に枕崎に帰りたいという話は聞いていました。本来病院を開くならある程度広い範囲から場所を選ぶのが普通だと思いましたが、自分たちは最初から枕崎で、と決めていたので迷いはありませんでした。鹿児島の人には鹿児島から離れても、いつかは地元に戻りたいという人が多い印象がありますね」と話す尚哉さん。

実際に鹿児島に移住した後の生活でも、言葉の面で少し苦労したことはあつたようですが「もともと大学時代は青森に住んでいたこともあって、地方での暮らしが大変だとは感じていないです」と話します。
枕崎の印象に関しては、やはり港町やカツオ、台風のイメージが強かったようで、病院のロゴもカツオや波をあしらった、枕崎らしいデザインになっていました。

安心してペットが飼えるまちに
「ホームドクターとして地域に根ざした病院にしていきたい」と話すお二人。イヌやネコは今や家族の一員と考える人が多く、生活を豊かにしてくれる存在になっています。今回枕崎に新しく動物病院ができることによって、ペットと安心して暮らせる環境づくりがより進むのではないかと期待されます。
今月は新しく枕崎に移住されたお二人にインタビューをさせていただきました。いただきましたが、動物病院の仕事を通して、ペットを通して地域の人のためにという思いを感じました。
望月さん、ありがとうございます!



病院のロゴマーク

市長 コラム vol.8

複雑性と戦略、ONE TEAM

こんにちは。前田祝成です。
ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍は多くの日本人を感動させてくれました。ラグビーというスポーツは決して日本ではメジャーなスポーツではなかったのですが、今回のワールドカップでの日本代表の活躍で一気にメジャースポーツへ駆け上がった印象です。私も野球やサッカーの経験はありますが、ラグビーは高校の体育の授業で少しやっただけで、時々テレビで観戦する程度でした。
今回、日本代表の活躍を語る象徴的な言葉に「ONE TEAM」という言葉があります。今回の日本代表チームの戦いぶりはまさに「ONE TEAM」を体現するものでした。
ラグビーというスポーツの大きな特徴(面白さ)に複雑性というものがあつたように思います。決められたルールの中で一人一人のプレーの選択肢が限りなくあつて、その多くの選択肢を組み合わせてチームとしての戦い方が作り上げられていく。日本チームがフィジカルで劣る相手に対して互角以上の戦いをして勝利していく背景には、この複雑性というラグビーの特徴を生かした戦略があつたのだと感じます。もちろん、一人一人のプレーの質の高さ、鍛え抜かれた技術はベースにあると思いますが、それを最大限に活かすリーダーの戦略眼は、大いに学ぶところがありそうです。
一人一人の特徴を複雑な戦いの選択肢の中で生かしながら強くなっていく。地方創生総合戦略も地域の強みをさまざまに組み合わせ、「枕崎をひとつに」、ONE TEAMにしていく。私たちは思います。

燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

9月29日から10月1日の3日間、茨城県常陸大宮市の西部総合公園体育館で「第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)なぎなた競技会」が行われました。鹿児島県(上野千代子監督)は、少女女子の演技競技と試合競技で第2位、成年女子試合競技で第7位に入賞しました。その結果、総合成績で第2位となり、昨年の第18位から大躍進を果たしました。来年、本市で開催される「第75回国民体育大会(燃ゆる感動かがしま国体)なぎなた競技会」においても、上位入賞が期待されますので、引き続き皆さんの応援をよろしくお願いいたします。出場選手及び競技結果は次のとおりです(敬称略、カッコ内は所属)。

- 出場選手
【少年女子・演技競技】秋葉笑里(川辺高校)、上牧千笑(同) 【少年女子・試合競技】秋葉笑里(川辺高校)、村田凜(同)、上牧千笑(同) 【成年女子・演技競技】田口真耶(鹿屋

⑭チームかがしまが総合成績第2位の大躍進!
～第74回国民体育大会なぎなた競技会～

体育大学)、丸野麗那(福岡大学) 【成年女子・試合競技】上村悠衣(国際武道大学)、丸野麗那(福岡大学)、田口真耶(鹿屋体育大学)
■競技結果
【少年女子・演技競技】第2位 (決勝) 茨城県5-0 鹿児島県
【少年女子・試合競技】第2位 (決勝) 大阪府3-0 鹿児島県
【成年女子・演技競技】(1回戦) 和歌山県3-2 鹿児島県
【成年女子・試合競技】第7位 (7位決定戦) 京都府1-2 鹿児島県
■総合成績 第2位 ※第1位は茨城県
■問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170



▲(左から)秋葉笑里選手、村田凜選手、上牧千笑選手、上野千代子監督 ▲(左から)上村悠衣選手、丸野麗那選手、田口真耶選手